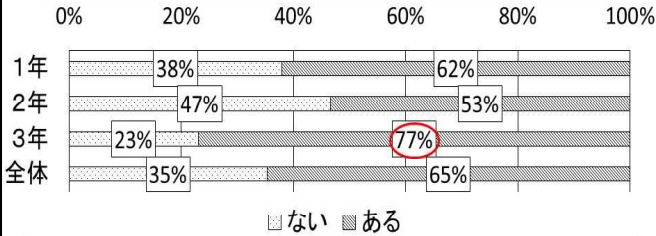


# スマホやケータイに関するアンケート結果



第 29 号  
東江中学校  
校長 神元 勉

## 1 “スマホ”や“インターネットのできるケータイ”を持っていますか。



2015年の全国学力・学習状況調査結果から、中学校3年生の「携帯電話・スマートフォンの所有率」は、全国平均78.6%で、沖縄県は全国9位(82.1%)との報告がある。  
本校の3年生の所有率は、77%と全国平均に近い値を示している。1年生(62%)の方が、2年生(53%)よりも高いことから、今後、所有率がさらに高まることが予想される。

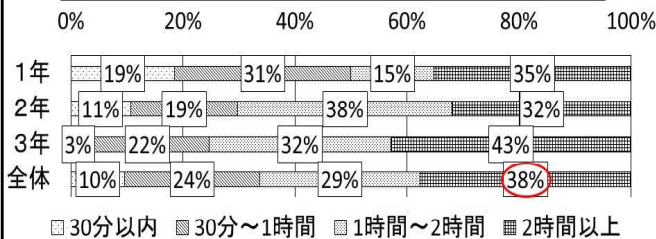
## スマホやケータイに関するアンケート結果



名護市立東江中学校:2016年6月調査  
(296名中275名回答:93%)

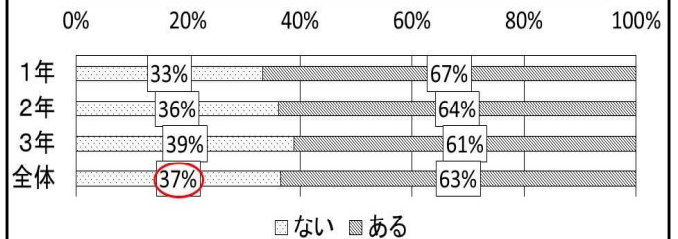
アンケート結果から、「スマホ・ケータイ」については、かなり深刻で、危惧すべき状況です。未来を担う子ども達の健全育成のため、共に真剣に考え、行動を起こしましょう!!

## 3 1日にどれくらいインターネットやラインなどをしますか。



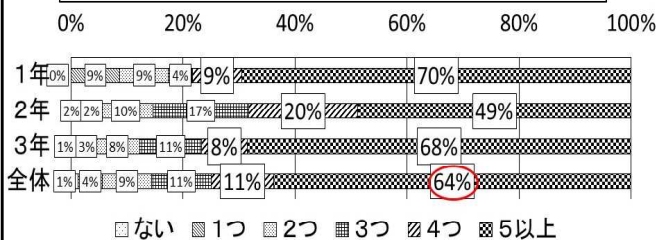
「インターネットやライン」を使用する時間が、長い傾向にあり、2時間以上が38%を示している。「ネットやスマホ」の依存による心身への弊害やそれを介した「いじめやトラブル」の怖さなどの実態を理解させ、それを防ぐための「ルールとマナー」を守る大切さを学ばせる必要がある。

## 2 お家の人と、スマホなどの使い方について「約束」はありますか。(178名中)



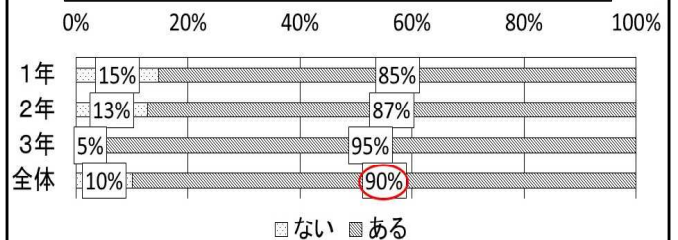
スマホやケータイ所有者の37%が「約束がない」と回答しているのは、憂慮すべき状況と言える。出会い系やゲームなどの悪質サイトへのアクセスを防止する「フィルタリング」や「使用についての約束事」の大切さを保護者へ理解させ、その対応を促すことが、喫緊の課題である。

## 5 ラインのグループに入っていますか。(ラインに入っているグループの数)



ラインやフェイスブック経験者の99%が、「ライン」のグループに入っている。また、「ラインのグループに5つ以上入っている」生徒が、64%にも上っている。「ライン」は、便利である反面、これまで前述した通り、「ルールとマナー」の必要性和「危険性」について繰り返し説明し、保護者の理解を求めていくことが欠かせない。

## 4 スマホやケータイなどで「ライン」や「フェイスブック」をしたことがありますか。



スマホやケータイ所有者の90%が、「ライン」や「フェイスブック」を経験している。安易な書き込みやそれに伴う危険性を理解させ、その危険の回避についての予防策について啓発することが、急務である。